

「関東子ども健康調査支援基金」による甲状腺エコー検査が、今年も開催されます。

## 東日本大震災から6年。

原発事故で放出された放射性ヨウ素は、福島県との境を越えて栃木県にもやってきました。福島県では2017年6月末時点で、小児甲状腺がん(疑い含む)191名が報告\*されています。

\*「福島県民健康調査」検討委員会

震災事故当時0～18歳だった方優先  
この機会に是非、  
検査を受けてみませんか



# 甲状腺エコー検査

at 矢板市

先着110名、9/10受付開始(お早めに!)

担当医 **野宗 義博** 医師  
(島根大学医学部 特任教授)

検査時間はおひとり平均5分程度です。

検査前の手続きに20分程度かかります。予約制ですが待ち時間も生じますのでご了承ください。  
※基金へのカンパとしてお一人2,000円程度の寄付をお願いいたします。

### ●関東子ども健康調査支援基金とは？

子どもたちの健康を守りたい！

という多くの声を受け、2013年9月に立ち上がりました。皆さまからのカンパと医師の協力、ボランティアスタッフの力によって運営されています。今後も継続して各地での検診を予定しています。

オンライン申し込み  
がご利用いただけます。



2017年

11月11<sup>土</sup>日・12<sup>日</sup>日

※予約制：当日受付は行いません。事前にお申込みください。  
※FAXでのお申込みをご希望の方は裏面をご覧ください。

場所	矢板市農村環境改善センター(矢板市沢783)
日程	11日(土)13:00～16:30、12日(日)9:00～11:00
対象	矢板市および周辺市町村にお住まいの方 ※高校生以下の受診者には保護者の付き添いが必要です。
お問合せ	甲状腺エコー検査矢板実行委員会 ☎080-6544-2427(井田) ✉hachidori_88@yahoo.co.jp

主催：「関東子ども健康調査支援基金」 <http://www.kantokodomo.info/> / 基金HPからこのチラシと申込書がダウンロードできます。  
協力：甲状腺エコー検査矢板実行委員会・子供の未来を考える会ハチドリ・放射能から子供を守る会塩谷・株式会社ブリジック・株式会社さいた